

NPO 奈良 21 世紀フォーラム号外

「新理事長決まる」今年の総会開く

平成 19 年度の通常総会は、5 月 12 日(土) 東大寺本坊で開催された。当日は晴天に恵まれ、休日にもかかわらず、40 名の会員の方々が出席された。

総会では、平成 18 年度事業報告と決算を承認、今年度の事業として、3 年後に迫った平城遷都 1300 年記念事業に協力すべく、従来推進してきた 3 項目をブラッシュアップ、さらに遷都 1300 年記念事業に提案する企画書作成など 4 項目を加え、事業計画を決定した。この事業計画を推進するため、理事会を拡充する案が提出され、次の方々が理事に就任された。理事長職は石橋毅一大和ハウス特別顧問から 森本公誠東大寺長老に引き継がれた。

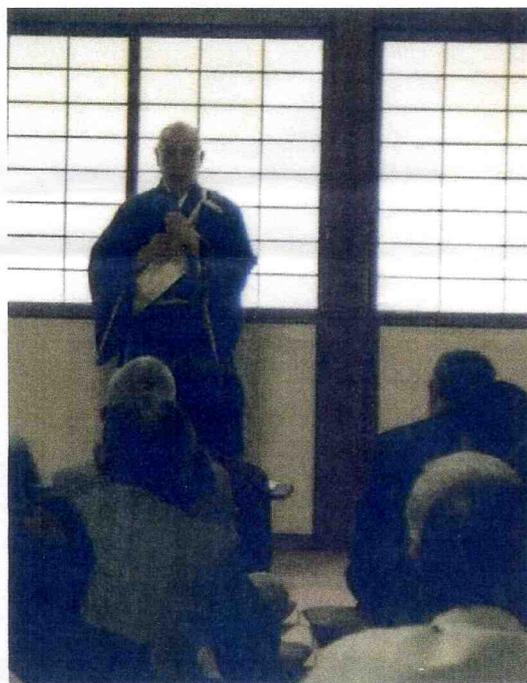
理事会構成

- 理事長 森本 公誠 東大寺長老
- 副理事長 堀井 良殷 大阪21世紀協会理事長
- 副理事長 山口 昌紀 近畿日本鉄道社長
- 専務理事 扇谷 泰之 シードコンサルタント社長
- 理事(終身) 石橋 毅一 大和ハウス特別顧問
- 理事 足立 伸之助 近鉄ケーブルネットワーク社長
- 理事 安細 恭弘 マルチメディアコンサルタント
- 理事 大辻 康夫 奈良 21 世紀フォーラム
- 理事 権木 康雄 日昇食品代表取締役
- 理事 北浦 弘順 南都銀行バリュー開発部長
- 理事 中嶋 實男 奈良中央信用金庫会長
- 理事 中村 憲兒 奈良交通専務取締役
- 理事 増尾 正子 作家
- 理事 水谷川忠俊 作曲家
- 理事 森下 泰行 近畿日本鉄道取締役副社長
- 理事 和田 萃 京都教育大学教授
- 監事 中嶋 大 税理士
- 監事 福嶋 重博 奈良県サッカー協会名誉会長

(50 音順)



石橋前理事長は7年間、理事長を勤められ、フォーラムの基盤を築かれた。上記写真は理事長としての最後の総会を終わられて、本坊の美しい庭に見惚れて寛いでおられた様子を撮影したものである。



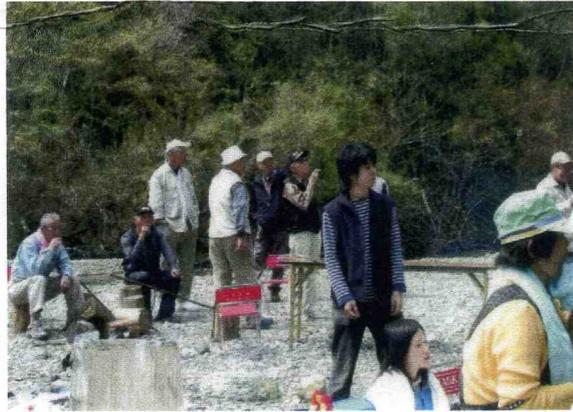
その後の基調講演の中で、新理事長は聖武天皇が先頭に立って推進した大仏建立の過程を紹介されるとともに、出来上りのすばらしさに触れてもらう空間を設けるだけでなく、それを作った人の心を汲み取れる空間を構築し、大和が愛されるように考えてはとNPOの指針を説かれた。

大和の食文化のルーツを訪ねて

4月27日、春うららの日、吉野川源流の森、川上村の食文化を味わうために、川上村高原地区に向かう。この行事は東映OB会の恒例行事になっているが、当フォーラムのメンバーも参加させてもらい、総勢28名が大和の食文化のルーツのひとつを訪ねてみることになった。この催しは河原バーベキューのタイプで行われ、渓谷の景色と新緑の新鮮な空気も食に味を添えた。

料理のおしながきを紹介しよう。

- ①小芋の味噌和え、
- ②筍、ふき、イタドリの煮物
- ③タラの芽、芹、ウド、
 筍など山菜のてんぷら
- ④こんにゃくの料理
- ⑤あまごの塩焼き
- ⑥目張りずし、チシャのおにぎり、
おかいさん（茶粥）
- ⑦高菜の漬物
- ⑧火打ち餅、田舎饅頭
- ⑨源流の森の水で沸かしたコーヒー



どの料理も従来のイメージを超えた美味しい料理であった。その中でも、高菜の漬物を使った目張りずしは流石ルーツの味で、好評であった。

